

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷惠策 SJ

39

第十一幕 第2場

ローマよりヴェネチアまでの道すがら

1523年4月・5月

登場人物： イニゴ・デ・ロヨラ 巡礼者

旅人 1(ピエトロ)

2(ジョヴァンニ)

3(エンリコ)

ゴンドラの船頭

【語り】 イニゴは教皇よりエルサレム巡礼の許可と祝福を受けたのち、1523年

の復活節第二週に（4月13日か14日）にローマを発ち、ヴェネチアに向けて歩み始めました。ローマで受け取ったお金を途中で行き会う貧しい人々に施しながら 約600kmの苦難の多い旅をしました。途中いたるところにペストのため外部のものを入れないように監視所があったので、市外の家の柱廊などで夜を明かすこともしばしばありました。

ある朝のこと、

イニゴ：ああ寒い。春とはいえ、朝は冷えるな。寄りかかっている石柱の冷たさが背中に伝わってくる。……あたりが明るくなってきた。今日も晴れるだろう。…… あっ、誰かが近づいてくる。パンをくれるだろうか？頼んで見よう。（近づいてきた男に）

イニゴ：ボン・ジョルノ。

男：ボン・ジョ、ジョ、ジョ、お前さん、なんて顔してるんだ。真っ青だ

まさか、ペ、ペ、ペストにかかっているんじゃないかな？……

よせ、こっちに来るな！近づくな！……

た、た、助けてくれー。ペ、ペ、ペ、ペストだー！

イニゴ：一目散に逃げて行っちゃった。ペストになんか かかっていないのに。

よほど顔色が悪いんだろうな。それに、ずいぶん、痩せてるし。

ローマからの道のりも相当あったから、疲れが出たんだろうな。

【語り】ローマを発って約一か月、疲労困憊したイニゴはやっとヴェネチアの南方 25 k m のキオジアにつきました。道連れになった人々はみなヴェネチアに入るには、ペストにかかっていないことを証明する必要があるというので、パドアに寄って健康証明書を取ってきましたが、イニゴはその証明書なしに、5月中旬ついにヴェネチアに到着しました。

旅人 1 (ピエトロ) : おお、やっとヴェネチアが見えてきた。5年ぶりだなー。

旅人 2 (ジョヴァンニ) : わしはおととし来たけど、あの時は暑かったなー。

旅人 3 (エンリコ) : 今は聖母月で、一番いい季節だね。沢山の花と新緑の木の

美しいこと！ジョヴァンニ、スペインからの巡礼さんに、

サン・マルコ広場まで、舟で行くことを教えてやれよ。

ジョヴァンニ : (イニゴに向かってスペイン語で) スペインからのお方、ここか

らサンマルコ広場までは舟に乗って行くんですよ。ゴン

ドラは初めてでしょう？

イニゴ : ええ、初めてです。ヴェネチアもイタリアも初めてですから。

ピエトロ：大型のゴンドラが近づいてきた。さあ乗った、乗った。

エンリコ：今日は海が静かで助かるなー。久しぶりの海だ。

ああ、絶景かな、絶景かな！

ピエトロ：サン・マルコ広場の船着き場で、健康証明書の検閲があるはずだ。

皆すぐ見せられるように、出しときな。ジョヴァンニ、巡礼さんにもそう言ってやりな。

ジョヴァンニ：(スペイン語でイニゴに) ヴェネチアに入るために 健康証明書の提示が求められます。直ぐ出せるようにしておくといいですよ。

イニゴ：健康証明書は持っていません。

ゴンドラの船頭：なんだって？持っていない？

あそこの役人たちときたら、頭が固い奴ばかりだから、証明書なしには、上陸させてくれませんぜ。こっそり入って、後でばれたら、厳罰を食らいますぜ。

イニゴ：*****

エンリコ：だいぶ前のことだが、4人のおなごが証明書なしに入ったのが見つかり、むち打ちの刑を受け、すんでのことに死ぬところだったって言うじゃないか。

ジョヴァンニ：(スペイン語で)ペストから町の人を守るために、やたらと厳しく

しているらしいです。火あぶりになったり剣で刺し殺されたりした人もいたようです。折角ここまで来なすったけれども、パドアで証明書を取って、出直す方がいいですよ。

イニゴ：神に全てお任せしていますから、必ずヴェネチアに入れるよう計らってくださいでしょう。エルサレムへの巡礼船は、ここから出るのですから。

船頭： ほら、もう着くぞ。役人たちが、あんなに沢山待ち構えていますだ。非常事態宣言が出てから、証明書調べが特に厳しくなったもんね。

【黒い使いの合唱】

それ見ろイニゴ 言ったこっちゃない 神なんかより 証明書
パドアに行って 取ってこい このまま上陸 出来っこねー

イニゴ：また不安を起こさせようとするのか？ もうその手には乗らんぞ！

私は人間の作る証明書より、神を信頼している。パドア往復の無駄な日にちを費やすつもりはない。

【白衣の天使の合唱】

ああイニゴ 汝の頼む 全能の 父なる神は
ともに^{いま}在し 助け給わん 今日汝 ヴェネツィアに^あ在らん

主任検査官（岸から）：ようこそヴェネチアへ。ペスト拡大を防ぐため、健康証明書を見せてもらいます。三密を避け、ソーシャル・ディスタンスを取りながら、三列になり上陸してください。

エンリコ：（小声で）ゴンドラの中では無理だよ。

主任検査官（岸から）：では先頭の人からどうぞ。

（健康証明書の検査が始まり、しばらくたって・・・ゴンドラの中でひそひそと・）

ピエトロ：やけに時間がかかるな。もう半時は経つというのにまだ二人目だぜ。

エンリケ：証明書を隅から隅まで繰り返し読んでるな。多分サインが本物かどうか調べてるんだろう。偽造するやつが多いからね。

ジョヴァンニ：あれ、あそこの役人、こっちを向いて盛んに手招きしてるぜ。

ピエトロ：本当だ。どうやらあの巡礼さんと呼んでいるみたいだな。

ジョヴァンニ：（スペイン語で）巡礼さん、貴方を役人が呼んでますよ。

イニゴ：えっ？・・・ああ、あの人。岸に上がれって？

ジョヴァンニ：「早くこっちにこい」と叫んでます。

イニゴ：でも、順番を守らないと。

ジョヴァンニ：いいから行きなさい。役人が呼んでるんだから。

イニゴ：では、皆さんすみません、お先に。

ピエトロ：あの巡礼さん、こっぴどくやられるぜ。証明書も持たないで。

エンリコ：でも、あの役人、何も見ないぞ。荷物検査もしないし。

ジョヴァンニ：荷物らしい荷物をはじめから持ってないしな。本と杖とほんの
わずかの着替えだけだ。 あっ。もうOKみたいだ。

ピエトロ：こっちを向いて、頭下げて、手を振ってるぜ。

ジョヴァンニ：運がいいね、あんたは。じゃ、達者でな！

イニゴ：皆さーん、ありがとー。Muchas gracias! Adios!